

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		教育懇話会				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等			〔法令等名〕					
	事業対象	幼児・児童・生徒・区民							
	事業目的	「台東区教育委員会の教育目標及び基本方針」及び区が目指す学校教育の理念や方向性を示した「台東区学校教育ビジョン」の具体的な取組みなどを示す「学びのキャンパス 台東区アクションプラン」を推進し、また結果の検証をすることで台東区の教育行政の改善を行う。							
	事業内容	教育委員会事務局と有識者による懇話会 校園長などを対象とした講演会							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	懇話会開催回数 回		1	2	3	1		
	成果指標								
	決算額 (単位：千円)				494	286	130		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			3,600	3,332	1,704		
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			0	0	0		
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			494	286	130		
		総経費			4,094	3,618	1,834		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0				
一般財源（区負担額）			4,091	3,618	1,834				
前年度から改善した事項		校園長を対象に、学校教育ビジョンやICT教育の推進に向けて講演会を行った。							
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	外部の専門的な知見を取り入れることは教育行政の質的向上を図るために必要である。						
	効率性	3	懇話会の開催回数等の見直しを行い、参加者に校園長の代表が加わったことで、有識者は学校現場の様子を理解し、それに基づき意見聴取ができ、有効な会議運営が図れた。						
	手段の適切性	4	学校教育ビジョンの実現に向けて、有識者の意見等を懇話会だけでなく、校園長を対象とした講演会を開催することで、校園長が意見を伺う機会を設けた。						
	目的達成度	1	現状において効果的な懇話会にするために開催方法などを見直した結果、予算額及び懇話会の開催回数を減らしたが、有効な会議運営を図ることができた。また、懇話会だけでなく、広く浸透できるよう講演会も開催した。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性			
有識者からの意見聴取等は区の教育の質的向上を図るために有効であり、継続的に実施していく必要がある。効果的に実施できるよう、開催方法などは随時見直しを図っていく。						維持			
						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			